

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和7年第2回 宮城県古川警察署協議会
開 催 日 時	令和7年6月27日(金) 午後3時58分から 午後5時12分まで
開 催 場 所	宮城県古川警察署 大会議室
出 席 者 等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～宮崎英行会長、氏家弘子副会長、及川みや子委員、瀧川まゆみ委員、畠山光平委員、新山明美委員 ・ 欠席委員～本宮言委員、秀岳芳行委員 <p>2 警察署側</p> <p>署長、副署長、副参事、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、警務課員</p>
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

別 紙

1 報告事項

(1) 管内治安情勢について（署長）

署長から、令和7年5月末現在の管内の刑法犯認知・検挙状況、特別法犯検挙状況、特殊詐欺発生状況、交通事故発生状況等について説明がなされた。

(2) 質疑応答、意見提言等

【委員】

以前、詐欺電話のようなものがかかってきて、危うく被害に遭いそうになったことがある。

是非、特殊詐欺電話撃退装置の導入を推進してほしい。

【署長】

承知した。

【委員】

金属盗の犯人として外国人4名を検挙したとの報告内容だが、古川警察署管内に居住している者か。

【署長】

当署管外に居住する者である。

【委員】

私の自宅近くにも会社の寮があるが、そこには外国人の方が複数住んでおり、どんな方が住んでいるのかが分からない。

警察ではどこにどんな外国人が住んでいるのかを把握しているか。

【署長】

警察では、管轄の交番、駐在所の勤務員が巡回連絡を通じて定期的に居住確認等を行い、地域の実態把握を図っている。

【委員】

外国人が車で個人宅を訪問し、無料で廃品回収をすと言っておきながら、結局お金を請求されるというトラブルが発生していると、近隣住民から話を聞いたが、このようなトラブルに対して何か対応はしているのか。

【署長】

廃品回収に関するトラブルは、相手が日本人、外国人を問わず相談を受理している。

当署管内に限らず、各署でそういった相談を受けており、場合によっては事件化を図っている案件もある。

こういったトラブルに関する通報があれば、その都度対応をしており、広報紙などを利用して管内住民に周知を図っている。

また、最近だと屋根のリフォームを口実に個人宅を訪問し、契約を巡ってトラブルになるケースも発生しているので、注意喚起をしているところである。

【委員】

承知した。

今後も対応願いたい。

【委員】

外国人の方が自転車を並列で走行しており、危険だと感じる時がある。

外国人を雇っている会社、事業所に対して自転車走行に関する指導教養ができないものか。

【署長】

各事業所を通じて自転車利用に関するルールの指導教養を図っていく。

また、管内の学校に通学する学生のヘルメット着用率が芳しくないので、学校等を通じて同様に指導していきたい。

【委員】

管内の交通事情に関して、大崎市古川中島町地内にある交差点で渋滞が発生するという話を近隣住民から聞いている。

その原因として、交差点に設置されている信号機の青信号のサイクルが短いため渋滞に繋がっており、車両通過時、危険な場面もあるという話を聞いているので、可能なのであれば調整改善を願う。

【交通課長】

事故や渋滞の発生状況等を検証した上で適正な信号機のサイクルになっているかを確認し、見直していきたい。

【委員】

サイバー犯罪発生状況についてはいかがか。

【署長】

サイバー犯罪は地域を問わず発生するものであり、本件でも発生している。

生活安全課を通してサイバー犯罪防止にかかる広報活動を実施している。

また、サイバー犯罪被害に遭っても届出をしない方もいるので、サイバー犯罪被害に遭った場合は、警察に届出するよう広報していきたい。

【委員】

飲酒運転についてであるが、飲酒運転する者はどの年代に多いか。

【署長】

年齢については、若年層及び高齢層問わず全世代で取行されている。

先日、古川警察署管内においても自宅で飲酒した後に飲酒運転を取行し、そのまま道路上に車を止めて車内で寝ていたという案件を取り扱っている。

古川警察署管内は、酒類を提供する飲食店が多いことから、飲酒運転の取締りを更に強化したい。

【委員】

自転車の通行に関してだが、自転車が車道を走行していると危険な場面がある上、渋滞が発生することもある。

このことについて警察での対応はいかがか。

【署長】

自転車も軽車両という扱いになるため、原則車道を走行しなければならない。

一方、車両通行が頻繁な場所等の事情が認められる場合や歩道通行が可能な場所等であれば、自転車も歩道通行をしてもよいことにはなっている。

更に、近年は小型モビリティと呼ばれる乗り物も登場しており、自動車、自転車、小型モビリティ、歩行者が現在の道路環境でどうやって共存していくのかという点は大きな課題になると思われる。

現在、仙台市内では小型モビリティが数多く街中を走行しており、今後、当署管内においても、同車両が走行する可能性もある。

自転車利用者、小型モビリティ利用者等を含め、交通ルールと交通規範意識を向上させる必要があると考えている。

【委員】

承知した。

引き続き対策をお願いしたい。

(3) 災害発生時の対処について（警備課長）

警備課長から、管内の冠水箇所・災害危険箇所、災害発生時の古川警察署の体制、過去の災害事例等について説明がなされた。

(4) 質疑応答、意見提言等

【委員】

災害発生時、どの時点で警備体制を取るようになるのか。

【署長】

警備体制は、発生する災害によって段階的に設けられており、発生した地震の震度や気象庁から各種気象警報の発表がなされ、且つ予想される被害の程度によって敷かれる警備体制が異なり、警察本部からの災害発生にかかる指示や注意喚起等を総合的に勘案して、警察署長が警備体制を取るか否かを決定する。

警備体制を取らないまでも、夜間、休日であれば当直主任指揮のもとで各種災害に対応できるように体制を取っている。

【委員】

古川警察署は、ハザードマップ上で浸水区域に入っているのか。

また、災害発生時、交番や駐在所の警察官が不在だった場合、一般の方が災害対策用の警察の装備品を取り出せるような保管方法を取っているか。

【署長】

当署は甚大な被害が予想される浸水区域には入っていない。

警察署や各交番、駐在所に保管されている災害対策用の装備品は警察官が使用するものであり、建物内に保管されているので一般の方が取り出して使用することはできない。

【委員】

一般企業でも各種災害に備えて防災訓練を実施している。

日頃から訓練をしておかなければ、いざという時に動けないと思うので、防災訓練の呼びかけや、心構えに関しても市民に働きかけてほしい。

【署長】

承知した。

(5) 迷惑行為に対する対応結果について（警務課長）

警務課長から、令和7年2月27日開催の警察署協議会において、公園や路上で鳥の餌付けをしている者がおり、鳥が集まって歩行者や子供たちに危険が及んでいる旨の委員からの情報提供を受け、警察署で行為者を特定し、注意指導した旨の対応結果について説明がなされた。

(6) 質疑応答、意見提言等

【委員】

鳥の餌付けをしている者の件だが、同一人物と思われる者が以前とは違う公園で鳥の餌付けをしているのを目撃した。

注意しようかとも思ったが、トラブルになる可能性もあったので、その時は声掛けなどはしなかった。

【警務課長】

引き続き管轄交番等で警戒警らを実施したい。

また、鳥の餌付け行為を見かけた時点で警察に連絡をいただきたい。

【委員】

承知した。

2 事務連絡

次回の警察署協議会は、令和7年10月に開催予定。